

シナノピッコロ

登録番号：第14317号

登録年月日：平成18年7月13日

登録者：長野県（長野県長野市南長野幅
下692-2）

育成者：小松宏光 白田 彰 羽生田忠

敬 小池洋男

来 歴：「ゴールデン・デリシャス」と
「あかね」の交雑実生

育成地：長野県須坂市（長野県果樹試験
場）

特 性

■栽培特性

樹姿は開張で、樹性、樹体の大きさはともに中である。側枝の発出と花芽の着生が良く、着果管理や着色管理の省力性が高く、収穫前落果が少ない栽培しやすい品種で、「ふじ」程度の収量が期待できる。

発芽期及び開花期は「ふじ」と同じだが、満開期はやや遅い。「ふじ」とは交雑和合性で、「つがる」とは交雑不和合性、自家和合性はない。成熟期は9月上中旬で、「つがる」と比べ10日程度遅く、「千秋」と比べ10日程度早い。

■果実特性

果実の大きさは150～200g前後で小さく、果肉が褐変しにくい、丸かじりに適した早生品種である。果実の外観は長円形で、果皮は鮮赤色に着色し、縞の量は少なく、地色は黄色である。果肉の色は白色で、果肉は褐変しにくく、きめは中、硬さは硬、果汁は多い。蜜は入らない。糖度は14%前後、酸度は0.4%前後、甘味、酸味ともに中、芳香があり、食味は優れる。丸かじりで生食しても果皮が気にならない。貯蔵性は常温では2週間程度、冷蔵（5℃）では1カ月程度である。

■病害虫抵抗性および栽培上の留意点

慣行防除のもとで病害虫の大きな被害はなく、病害虫に対する抵抗性は「ふじ」、「つがる」など主要品種と同程度と考えられる。

栽培上の留意点として、丸かじりリングに対する需要を見極め、適正な栽培面積とする。整枝・剪定、施肥および病害虫防除は地域の慣行的な栽培管理に準ずる。荒摘果では頂芽果その中心果1果を残し、えき芽果その果実は全て除去する。仕上げ摘果は、逆さ実の除去と着果位置に近い果実の整理程度とする。着色管理は、果実に密着した葉を取り除く程度とする。樹体の強勢化や過剰摘果によって果実肥大の向上を図ると、本来の用途に適しない果実となるので、適正な管理に努める。

■地域適応性

現在のところ、苗木の生産・販売および栽培は長野県内に限られている。長野県内における適応性試験では、標高、土壌等の違いにかかわらず、広い地域で適応性があると考えられ、「丸かじりリング」に適した品種として普及が見込まれる。

（前島 勤）